【Ｒ１８】　会話形式ノベル

『ちん長の測り方を間違った教育実習生、測り直しをする。そして・・・』

～登場人物の会話形式～

作：七条右京

【登場人物】

・生野結月（しょうの ゆづき）：教育実習生

・片山杏奈（かたやま あんな）：指導の担任女教師

・宮木（みやき）、田畑（たばた）、宮田（みやた）：男子生徒

・村井（むらい）、平田（ひらた）、高岩（たかいわ）：男子生徒

○とある日のホームルーム

片山杏奈（担任）：

「ちょっと、男子はよく聞いて！」

「先日の身体測定で、ここにいる実習生の生野先生が、おちんちんの測定をしたと思うけど、一部の生徒の測り方を間違ったみたいなの」

「宮木君、田畑君、宮田君、村井君、平田君、高岩君、この６名は測り直さなきゃならないわ」

「ホームルームが終わったら、生野先生と一緒に保健室に行く様に」

「いいわね」

生野結月（実習生）：

「６人のみんな、本当にごめんなさい」

「よろしくお願いします」

☺

○その日の保健室

ホームルームが終わた後、教育実習生の結月、男子生徒の宮木、田畑、宮田、村井、平田、高岩が教室から移動して来た。

結月：

「ほんと、ごめんなさいね」

「包茎の場合、亀頭を露出させて、亀頭までの長さを測らなくちゃいけなかったの」

「私が間違ったばかりに、やり直す事になっちゃって」

「それじゃぁ、早速始めましょうか」

「脱いで、裸になって貰えるかしら」

宮木：

「生野先生のせいで、またちんこ出して、恥ずかしい思いをしなきゃ駄目なんですか？」

「そんなのいやです」

村井：

「そうだ、オレもそんなのいやです」

田畑：

「生野先生には、なんか責任とって貰わないと」

平田：

「そうだ、そうだ、責任、責任」

宮木：

「生野先生、オレたちも恥ずかしい思いをするんだから、先生も恥ずかしい思いをして下さ